

◇ 博物館だより ◇			
明治大学博物館			
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1			
HP: http://www.meiji.ac.jp/museum/	TEL: 03-3296-4448	FAX: 03-3296-4365	E-mail: museum@mics.meiji.ac.jp

1. 明治大学博物館のあゆみ

明治大学博物館は、刑事、商品そして考古の三部門からなる大学博物館である。それぞれの部門は由来の異なる同名の三博物館を前身としている。刑事博物館は1929年に設立され、以後、近世刑罰具、法制史関係文書や藩政文書などを精力的に収集し博物館資料の中核としている。商品博物館は1951年に設立され、高度経済成長期における商品の原材料から販売までの過程にかかわる実物資料の収集に力点を置いた。近年では、各地に残る伝統的工芸品を中心とした収集と展示活動を展開してきた。翌年に設立された考古学博物館は、戦後から本格化した明治大学による全国各地の発掘調査で出土した考古資料を保管し、標式資料の体系的な展示や講座活動を通じて考古学の普及に努めてきた。

2004年4月にこの三博物館は名実ともに統合され、駿河台に新しく建設された校舎に移転し、明治大学博物館としてリニューアル・オープンした。現在は各部門の専門性と資料の個性を土台として、展示・講座・イベントなどの普及活動と調査・研究活動の充実に取り組んでいる。



アカデミー・コモン外観(駿河台キャンパス)

2. 常設展示の概要

博物館は、明治大学駿河台キャンパスにある生涯学習と専門職大学院教育を行っているアカデミー・コモンの地下1・2階を占めている。常設展示室と収蔵庫は、地下1・2階をぶち抜きで利用している。地下1階からはじまる導入部には大学史展示室を併設し、地下2階に入口がある常設展示室では大学校舎にもかわらず天井高7mを確保することができ、余裕のある展示空間を実現した。常設展示室には、各部門展示を効率的に見学できるよう三つの展示ブースが配置されている。以下、導線順に紹介する。

1) 商品部門

高度経済成長期における各種手工業衰退の現状から、伝統的工芸品の技術と意匠の保存と活用に資する展示を行っている。漆器、染織品、竹木工品、金工品、和紙、陶磁器に分類された伝統的工芸品の原料から未成品そして完成品へと、各種製作段階に応じた資料が系統的に展示されている。

2) 刑事部門

古代から近世にかけての法制文書をはじめ、江戸時代の捕者具、刑罰具などの資料が展示されている。当時、外国人が撮影したという仕置場の写真は一見の価値あり。また、海外の拷問具では、「ニュルンベルクの鉄の処女」やギロチンの精巧な複製があり、見学者の興味を引いている。



常設展示



さまざまな意匠 (商品部門)

3) 考古部門

明治大学の考古学は、旧石器時代・縄文時代・弥生時代・古墳時代を主な研究対象としており、展示もこれら時代順に構成されている。資料の学史的な意義をふまえ、考古学の現在の研究視点から再評価する展示を心がけている。展示資料には、4件の国指定重要文化財が常時展示されている。

3. 展示資料から—旧石器時代の磨製技術

そもそも自然界にある素材を研磨するということは、現代人つまりホモ・サピエンス・サピエンスの特性らしい。先行するネアンデルタールの文化には、わずかながら磨きによって作られた骨製尖頭器が認められるものの、現代人が担った文化である今から約4万年前の後期旧石器時代にはいると、ヨーロッパ各地をはじめ旧大陸一帯で骨、鹿角、象牙を磨いて作られた動物・人物像などの芸術作品が爆発的に増える。骨製の槍や銛などの狩猟具も多種多様に製作されていた。

日本列島にみられる後期旧石器時代の様相には、石器を磨いて作るという、世界的にも稀な磨製技術が発達していたことが知られている。今から約3万5千年前の東北地方から九州地方にかけて広く分布する刃部磨製石斧がそれである。狩猟獣の解体道具ともいわれている。ナウマン象化石の出土で著名な長野県野尻湖の周辺では、多量の石斧とともにこの刃先を研ぐのに使った砂岩製の置き砥石が出土している。

1949年、日本で最初に発掘された旧石器時代遺跡である群馬県岩宿遺跡。その石器のなかに刃部磨製石斧がある。この日本最古の磨製技術による製品は当館で展示されており、現在は国の重要文化財に指定されている。

4. 大学博物館としての使命

大学博物館は、見学者という展示室と対になった狭いカテゴリーだけを対象としたり、研究が学芸員の部屋だけで完結するのではなく、市民、学生、研究者、卒業生などが講座、展示、調査、研究を通して日常的に自由に語り合い学びながら、新しい知の生産を行う作業場でなくてはならない。

前身となる明大三博物館の個性ある経歴と専門性をふまえ、私達は大学の知の資源と博物館をめぐる人の資源の相互作用からなるコミュニティを支える船であり舵手となることを目指したい。

■ 利用案内

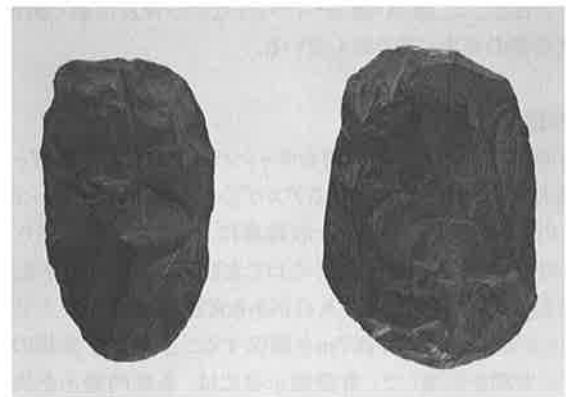
- ・ 休館日 8月27・28日
夏期休業日(8月10日～8月16日)
冬期休業日(12月26日～1月7日)
- ・ 開館時間 10:00～16:30(入館16:00まで)
- ・ 入館料 無料(特別展は有料の場合があります)
- ・ 交通 JR御茶ノ水駅(中央・総武線)から徒歩5分
地下鉄新御茶ノ水駅(千代田線)から徒歩8分
地下鉄神保町駅(都営新宿線・半蔵門線)から徒歩10分
- ・ 開館時間・休館日には変更の場合があります



ギロチンと鉄の処女(刑事部門)



弥生土器と銅鐸(考古部門)



岩宿遺跡の石斧(右が刃部磨製:後期旧石器時代初頭)



刃部磨製石斧の出土(岩宿遺跡:1950年)